

授業科目名	母性疾患	担当者	加藤 裕之
単位	—		
時間数	12時間	学年	2学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の 到達目標	妊婦、産婦、褥婦および新生児に見られる異常について学ぶ。		
授業の概要	女性を取り巻く環境の変化により、ハイリスク妊娠、ハイリスク新生児の増加がみられる。周産期における異常の症状や特徴、対応の概要について学ぶ。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠の異常 2. 分娩の異常 3. 産褥の異常 4. 新生児の異常 5. 合併症をもつ妊産褥婦とその管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊娠、感染症、心疾患、高血圧、腎疾患、気管支喘息、自己免疫疾患、婦人科疾患、精神・神経疾患 6. 産科手術・手技 <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸管拡張術、人工妊娠中絶、子宮頸管縫縮術、分娩誘発・促進法、会陰切開、鉗子・吸引分娩、骨盤位牽出術、帝王切開術、子宮全摘術・子宮腔上部切断術、産科麻酔 		
テキスト	新看護学14 母子看護 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		